

新たな地震被害想定調査結果を公表します

～市民の命と暮らしを守るため、新たな防災・減災対策の方針を決定しました～

千葉市では、9年ぶりに見直した地震被害想定調査の結果を公表するとともに、調査結果を踏まえた防災・減災対策の方針を決定しましたので、お知らせします。今後は、市民の命と暮らしを守るため、自宅の安全対策、分散避難の促進、避難所環境の整備および被災者支援の強化を重点的に進め、被害の軽減に向けて取り組みます。

1 趣旨

最新の科学的知見およびデータに基づき、9年ぶりに地震被害想定調査を見直した結果、市内で震度6強が想定される範囲が広がるとともに、自宅外避難者数のピークが発災2週間後となることなどが明らかとなりました。これらの調査結果を踏まえた防災・減災対策の方針を決定したことから、その内容を公表するものです。

2 調査結果の概要

(1) 想定地震

本調査では、千葉市に最も大きな影響を及ぼす可能性が高い地震として「千葉市直下地震」を想定し、震源の中心を千葉市役所直下に設定して被害予測を行いました。

(2) 主な調査結果

調査内容		平成28年度	令和7年度	増減率	増減理由
地震動	震度6強の面積 () 内は市内の面積割合	約147km ² (54%)	約185km ² (67%)	13%増加	地震の揺れを予測するための地盤調査データを新たに約1,000カ所追加し、より詳細な地震動予測を行ったことによる増加
	液状化危険度の高い面積 () 内は市内の面積割合	約20km ² (7.5%)	約23km ² (8.3%)	0.8%増加	
建物被害	全壊・半壊	44,230棟	26,260棟	61%減少	建物の建て替えや改修により建物の耐震性能・防火性能が向上したことによる減少
	焼失	5,880棟	3,030棟	48%減少	
直接死者	建物倒壊	1,040人	260人	75%減少	多くの人が居住する集合住宅等の延焼について、新たに予測したことによる増加
	火災	120人	260人	117%増加	
自宅外避難者数 (避難者のピーク)		304,210人 (発災直後)	284,660人 (発災2週間後)	6%減少	近年の災害における避難行動の傾向を踏まえた算出手法の見直しにより、避難者数のピークが変化

- ・地盤調査データを約1,000カ所追加し、地震動予測を精緻化したことにより、震度6強が想定される区域は市域の54%から67%に拡大するとともに、液状化危険度が高い区域も増加した。
- ・一方で、住宅の建替えや耐震化、防火性能の向上により、建物の全壊・半壊棟数および焼失棟数は前回調査から大幅に減少した。
- ・建物倒壊による死者数は大幅に減少したが、集合住宅等の延焼予測を新たに反映したことにより、火災による死者数は増加した。
- ・自宅外避難者数は発災2週間後に約28万人でピークを迎えると想定されている。

3 防災・減災対策の方針の概要

調査結果を踏まえ、5つの対策を実施します。

(1) 自宅を守り自分（家族）も守る【自宅の安全対策】

災害時でも、できる限り自宅で安全に過ごせるよう、各家庭で取り組める対策や関連する補助制度等について、さらなる周知啓発を行う。

（主な対策）

- ・住宅の耐震化
- ・家具等の固定
- ・感震ブレーカーの設置

(2) 避難先の選択肢を増やす【分散避難の促進】

各家庭の状況に応じて最も安全な避難先を選べるよう、啓発や避難所以外の避難先の確保等により分散避難を促進する。

（主な対策）

- ・分散避難の啓発
- ・地域避難施設および車中泊避難場所の整備
- ・分散避難者への支援の検討

(3) 避難所を安心して過ごせる場所にする【避難所環境の整備】

年齢、性別、障害の有無などに関わらず、避難所を誰もが安心して過ごせる場所にするため、TKB（トイレ・キッチン・ベッド、バス）の対策を中心にさらなる避難所環境の整備を進める。

（主な対策）

- ・トイレ対策の強化
- ・提供する食事の改善
- ・就寝環境の改善
- ・入浴支援の強化
- ・新たな避難スペースの確保の検討

(4) 被災者の不安を少しでも解消する【被災者支援の強化】

被災者の不安を少しでも解消できるよう、要配慮者対策等に取り組むとともに、早期に生活再建を行うため、被災者に寄り添った支援を強化する。

（主な対策）

- ・個別避難計画の実効性の確保
- ・物資供給体制の整備
- ・取り残さない支援体制の構築

(5) 災害に強いまちにする【ライフラインの早期復旧・応急対策】

過去の災害の経験を踏まえ、民間事業者と連携し、ライフライン機能の維持と早期復旧を図るとともに、途絶した場合においても市民生活への影響を最小限に抑えるため、応急対策を実施する。

（主な対策）

- ・電力事業者との協定に基づく道路啓開等や避難所への太陽光発電設備等の配置
- ・上下水道一体の復旧体制の構築、避難所の受水槽およびマンホールトイレの活用
- ・ガス事業者と早期復旧のための訓練や、協定に基づくカセットコンロの供給
- ・通信事業者との協定に基づく迅速な復旧や、避難所への災害時公衆電話等の設置

4 今後の予定

令和8年7月23日	ハザードマップ（PDF版）公開
8月1日	出前講座募集開始
8月中	WEB版のハザードマップ更新
10月以降	市民説明会の開催（4回程度）

5 地震被害想定調査結果等の公表

市ホームページにおいて、地震被害想定調査結果および防災・減災対策の方針に関する資料を公表します。

- ・地震被害想定調査結果報告書（概要版）
- ・地震被害想定調査結果報告書
- ・新たな地震被害想定調査結果及び防災・減災対策の方針

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/kikikanri/kikikanri/jishin.html>



＜参考＞これまでの地震被害想定調査

- ・令和6・7年度
千葉県（千葉県北西部直下地震・大正型関東地震・房総半島東方沖の地震）
- ・平成28年度
千葉市（千葉市直下地震）
- ・平成26・27年度
千葉県（千葉県北西部直下地震）
- ・平成20年度
千葉市（東京湾北部地震）